

ASPINA特別講義の概要

ASPINA
Engineered to Inspire

シナノケンシ株式会社
代表取締役常務
金子 行宏

包括連携協定と本講義の位置づけ

信州大学工学部とASPINAとの包括連携協定

2019年6月に主に以下を目的とし締結

◆「協創」

相互の提案型による課題設定を通じた共同研究

◆「相互教育／産学連携による人財育成」

教育支援と人的交流、等



A. リスキリング教育（信州大学 ⇒ ASPINA技術者）…昨年度から実施

B. 先端産業論（ASPINA ⇒ 信州大学工学部学生）…今年度実施(今回の発表)



リスクリリング教育の実績と計画

ASPINAの狙うDX関連市場への進出に向けた技術スキルを向上し、新しい価値を創出できるエンジニアを育成すること目標に、工学部の千田教授のご協力をいただきリスクリリング教育を実施。今年度も引き続き計画中。

2021年度 5月～12月(実施済)

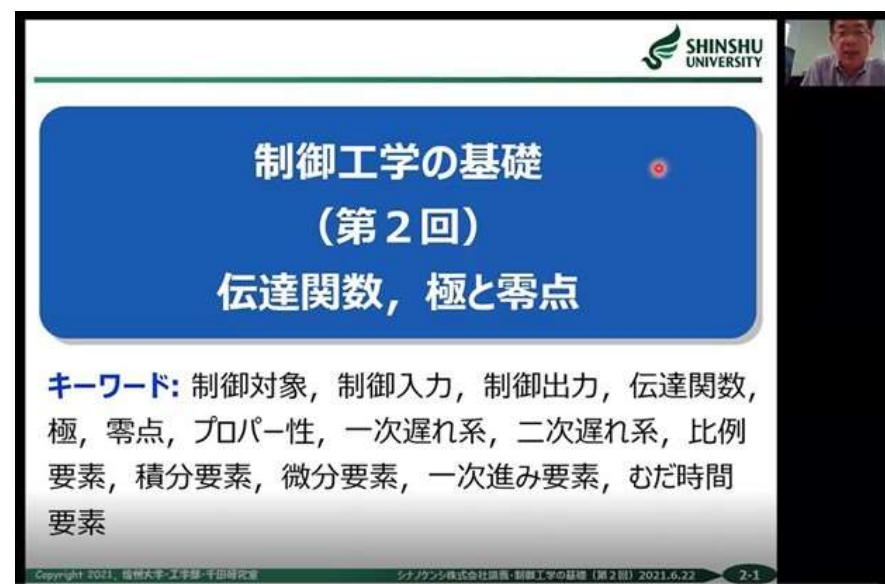
「基礎制御工学」講義 (9回コース)

2022年度 後期 (予定)

「応用制御工学」講義

2023年度 前期 (予定)

「データサイエンス」講義



学生向け講義実施の背景

未来を創る「人」

創業100年を越えたASPINAの歴史は変革の連続。

絹糸紡績から精密モータへの事業転換、グローバル展開、オープンイノベーション活動など多くの変革があり、そこにはそれを実現した人々の姿があった。

社会・企業を動かすのは最終的には「一人ひとりの人間」であり、その基本となるのが「教育」。ASPINAが「人」とともに進めている、変革の事業活動を共有することで、これからの未来を創る学生の皆様のお役に立ちたい。

学生の未来に役立つ授業を

○学生のニーズ

- 学部で学ぶ技術が社会でどのように役立つか知りたい
- 将来どのような職業に就くのがよいか考えたい
- 就職活動に役立つ情報を得たい

○講義内容

講師の実体験や事業の実例を織り交ぜ、企業ならではの面白さを感じながら、学生の職業選択や就職活動に役立つカリキュラムを目指す。

→事業・技術戦略、実製品での技術の活用例、イノベーション活動など



講義の概要と講師陣

実施要領

期間：6月4日～7月28日まで（前期）

対象学生：工学部学生

単位：1単位、全8回(対面4回、オンライン4回)

講師陣

金子元昭社長・金子行宏常務をはじめ、
経営陣や技術者十数人が、
専門知識を講義に反映



講義のテーマ

学生が親しみやすいような講義テーマを設定

- ❶ 「モタモタしてると負けちゃう。モーター市場での勝負の仕方！」
- ❷ 「ニーズを捉えて強みを活かせ！ 自分のコアコンピタンスを知ることから始めよう」
- ❸ 「新しいこと創造しよう！ 会社での新規開発の進め方」
- ❹ 「スティーブ・ジョブズを生み出す仕組み？ イノベーションの創り方、教えます」
- ❺ 「モーター開発突破 file1 高級家電編」
- ❻ 「モーター開発突破 file2 ロボットハンド・シャッターユニット編」
- ❼ 「モーター開発突破 file3 医療機器編」
- ❽ 「めくるめく生産技術の世界！ その奥深さと魅力に迫る」

◆前期受講登録数…190名（工学部1学年は485名）と高い関心をいただいた

